

4時間でMASTERする!

話を聴いてスッキリさせる技術

運営について

- 開催期日 2016年 6月22日(水)
- 開催時間 13:00~17:00
- 開催場所 LDSS 講義室
- お問合せ 075 353 6730

ご案内

仕事はつまるところ、コミュニケーションでできています。コミュニケーションの中で価値が創られ、伝わり、交換され、また新たな価値が創造されていく…。上手に仕事をしようと思うなら、コミュニケーションについて考えてみる必要があります。

さて、わたしたちが誰かとコミュニケーションを持った時、大きく二つの事態が起こります。時や場所、内容のいかにかわらずです。それはスッキリしたか・しなかったかです。スッキリした方がいいですよね。

そこで今回のプログラム「話を聴いて相手をスッキリさせる技術」です。なぜひとはスッキリしたり、しなかったりするのでしょうか。その原因を「位置」と「背景」と「本質」と「認識」という4つのキーワードから解きほぐしていきます。一言で言うと「自分の置かれた位置とその背景をしっかりと認識し、本質を見つめつつ、ものの見方・考え方を刷新する」、そのための助力を与えてくれる相手とのコミュニケーションはスッキリしそうです。言うは易し…はてさて上手くいきますかどうかは当日のコミュニケーション次第ですね。

●「スッキリ」の構造図



Shigeki Ikeda

imageをカタチにする力
Ideaをデザインする技術

Timetable

0 Testで事前準備

あなたは誰かと話をしている、「スッキリした!」という経験、ありませんか?プレゼンを受けて・上司にアドバイスを受けて・友達に相談を持ちかけて・思い出してみてください。その理由を4つ、所定のシートに書き込んで持参して下さい。開催日の2週間前に参加者へはメール配信されます。当日は、その結果をセッションすることから始めましょう。

1 座標と羅針盤 について解説とWORK

- 相手は自分の立ち位置を自覚しているか? 困惑したり、憤慨したりすると、自分の立場と役割をいついふれ忘れる…
- 相手は自分の方向性を見失ってはいないか?

2 背景とバックボーン について解説とWORK

- 相手は問題の背景を無視してはいないか? 背景となる事情・事柄を理解しようとしているか?
- 相手は問題のバックボーン、それを成り立たせている考え方に配慮が届いているか?

3 起点と基点 について解説とWORK

- 相手は問題のそもそも・もともとを把握しているか? 事の起こりを忘れていないか?
- 相手は問題の中心・ヘソが分かっているか? 枝葉末節に囚われ過ぎてはいないか?

4 主客逆転と視点変更 について解説とWORK

- 相手はいつも自分を主として考えてはいないか? 自分が客になるという発想があるか?
- 相手は問題に対する視点を固定してはいないか?